

沖縄県社保協ニュース



沖縄県社会保障推進協議会

会長 新垣安男 事務局長 高崎大史

那覇市古波蔵 4-10-53 健康企画ビル 3階

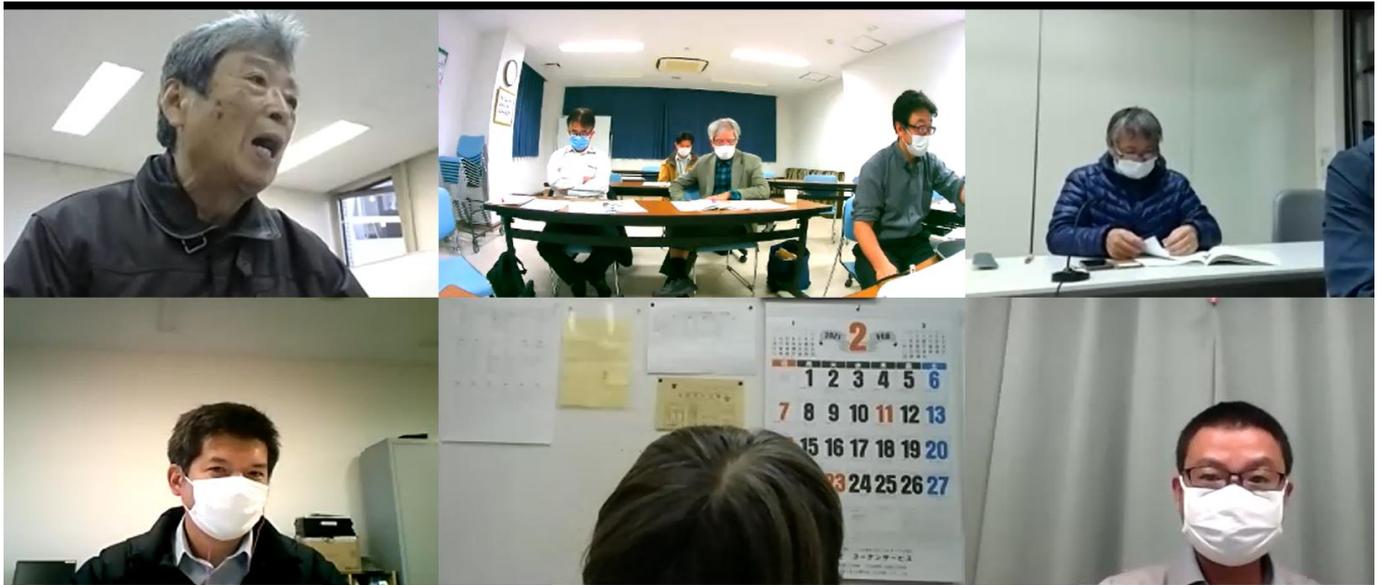
沖縄民医連内 098-833-3397 Mail:okisyaho@gmail.com

20210228

21期 No.16

《部内資料》

第21期県社保協第3回全団体代表者会議報告



代表者会議に 13 団体から 17 名参加

コロナ禍だからこそ命優先社会への転換を！

子どもの医療費無料制度

決着をつける年としましょう！

新たな署名運動スタート

沖縄市が 10 月から中学卒業まで現物給付で医療費無料化表明

2月19日第3回全団体代表者会議を開催しました。

当面の課題と総会日程、キャラバンに向けた方針を決定しました。

子ども医療費無料制度拡充のあらたな運動方針を確認しました

◇出席 新垣会長(民医連)大城副会長(医療生協) 瀬底副会長、島袋(生健会)高崎(民医連) 比嘉(沖縄協同病院)島袋(医療生協本部)藤田(うるま市社保協)安谷屋(きょうされん)比嘉(浦添社保協)西銘(保険医協会)赤嶺(糸満市社保協)宮里、真榮城(医労連)穴井(県労連) 秋山(南風原町社保協)新垣龍治、伊計裕子(豊見城市社保協) 以上 13 団体 17 名参加

I. 新垣会長挨拶

コロナ禍で困難が続きますが、10月までに総選挙はありますし、自治体キャラバンの準備を始めなければなりません。コロナ禍で困窮も深まっています。政治を変える今がふんばりどきです。

前回以降の取り組み

- 12月18日 第2回幹事会
- 12月25日 沖縄民医連社保委員会
- 12月25日 25の日行動 県庁前にて 13名参加
- 1月8日 子ども医療費無料制度を広げる会 県庁要請と記者会見
- 1月21日 県社保協事務局会議
- 1月25日 25の日行動は、緊急事態宣言につき中止
- 1月29日 沖縄民医連社保委員会
- 2月3日 中央社保協全国代表者会議
- 2月5日 後期高齢2割負担中止要請の県庁要請と記者会見
後期高齢2割負担を含む法案を閣議決定
- 2月15日 県社保協事務局会議
- 2月16日 きょうされんへ障害福祉署名 1154筆と募金2万円を手交
- 2月18日 沖縄民医連社保活動交流集会&長友薫輝先生の講演
- 2月19日 県社保協第3回代表者会議



Ⅱ. 当面の課題

①75歳2割負担法案廃案を求める運動

これまでの成果

- *2010個人署名に約8000筆（民医連中心）
- *団体署名222筆（民医連中心）老人クラブ連合会18か所
⇒2月5日県庁要請行動（別紙報告参照）

今後のたたかい

- *3月議会で意見書採択陳情
- *法案廃案を求めて、個人署名よびかける
上部団体がよびかけていないところは社保協へ集約
- *法案が決議されても2022年10月実施まで「中止」の運動継続

②「いのちを守る」署名が共同の重点署名

各団体に取り組みをよびかける。25の日行動の中心課題とする
上部団体が呼びかけていないところは県社保協で集約する

③「子ども医療費無料制度を広げる」新たな運動

- *別紙「県民の会」提案参照
- 現物給付化と18歳まで無料化 ペナルティ全廃と国の制度化
- 当面の重点は「アピール賛同者」募集 職能団体、保守系の方もよびかける

☆前宮(沖縄市社保協)

沖縄市が、今年10月からいっせいに中学卒業まで現物給付で無料化を表明
社保協の運動と県の取り組みを評価

大きな前進、これで人口過半数に。ほかの市にもきっと波及する
のではないかと

④ 3月議会への取り組み

- *後期高齢2割負担中止を求める陳情書 すでに発送
- ☆大城副会長
3月議会の中でも「子ども医療費現物給付」を訴えてほしい

⑤ 無料低額診療の周知、生活保護の運用改善 ミニキャラバンの提案

- 3月11日 豊見城市へ要請
- 3月12日 那覇市へ要請

☆新垣龍治（豊見城市社保協）⇨生保の運用通達 車の保有など徹底されているかどうか

☆瀬底副会長 与儀公園の困りごと相談 民医連も参加する場合、もっと豊かなものにしていこう

Ⅲ 自治体キャラバン 2021 成功に向けて

自治体アンケートとキャラバン要請書の

☆重点項目の検討

- 子ども医療費現物給付は重点課題
- 妊産婦への医療費助成は新たな課題
- 国保改善は引き続き重点(資格証、短期証、国保税、44条77条、子どもの均等割り、差し押さえ…)
- 介護改善も引き続き重点だが、広域との関係をどう整理するか
- ひとり親、障がい者医療の現物給付アンケートとる
- 雇用、非正規問題
- コロナ特例減免の結果追跡
- 8050問題のフォロー
- 公営住宅保証人問題のフォロー
- 生活保護のあらたな通達への対応評価
- 65歳未満の特定疾患の障がい者の介護保険強制を問う
- あらたに「特別障害手当」をどう
- 補聴器補助
 - ⇒安良城(年金者組合)コロナで予算が62万円に削られた
- 高齢乗車パス
- ほか⇒きょうされん:コロナのPCR検査を障がい者施設のしょくいんにもひろげてほしい
 - ⇒安良城(年金者組合)振替加算全額支給をちかとした。豊見城市で



⇒4月代表者会議を「要請項目検討学習会」として自治体アンケート2021確定の場とします。最終アンケートを取りますのでご協力お願いします⇒日程は4月9日(金)15時—17時とします

☆開催時期の問題

- 1) オリンピックが開催され、総選挙が9月以降になる場合
 - ☞最短プラン 4月アンケート発送 6月要請書発送(もしくは5月に同時発送)8月キャラバン
 - 2) オリンピックが中止となり、8月以前に総選挙実施の場合
 - ⇒中間プラン 5月アンケート発送 7月要請書発送 9月キャラバン
 - 3) 4月に総選挙が行われる場合
 - ☞中間プランと同様(母親大会があるため)10月までずらせるかも
- *最短プランの場合、4月定例代表者会議にアンケート決定では遅すぎるかも

☆3月末に判断する⇒4月代表者会議で報告

☆総会開催日程は

- ① 5月15日⇒産業支援センター×
- ④ 5月29日⇒産業支援センター中ホール○

いまのところ5月29日開催が最有力ですのでこれで提案します
いずれにしても、ウェブ併用方式で開催になる

☆記念講演講師とテーマは

「医療」「介護」全世代型社会保障の情勢論を重視すれば

- 伊藤周平先生
- 長友薫輝先生 他推薦があれば…情報提供お願いします

Ⅵ 今後の日程

- 3月11日—12日 無低生保ミニキャラバン
- 4月9日 第4回全団体代表者会議
- 5月29日 県社保協総会
- 8月 自治体キャラバン2021

会議動画アドレス

<https://xfs.jp/PCe5X>

2021 年社保運動のイメージ早い案

20201209

1 月

1月-3月
キャラバン 2020
まとめと報告(地域で)

キャラバン 2021 に向けて情勢学習会
3月18日(金) 18時からとよみ生協6階

2 月

浦添市長選挙

3 月

3月議会

3-4月
2021 キャラバン
アンケート項目の確定
要請項目の協議

4 月

うるま市長選挙

自治体アンケート作成
4月1日発送、5月中旬回収
6月 アンケート結果冊子完成

5 月

5月中旬 要請項目確定

6 月

5月29日 社保協総会

キャラバン要請書
6月1日発送
7月中旬回収

7 月

6-7月
ブロック学習会
地域社保協学習会

8 月

キャラバン本番

8月上旬-8月末 3ブロック一列で

9 月

9月議会
意見書採択

9月総選挙???

10 月

11 月

介護ウエーブ(電話相談、集い)

母親大会全国大会

社保署名運動

通常国会

各種アンケート

沖縄県におけるこども医療費助成について
現物給付化と18歳まで年齢拡大を実現するための取り組み方針の提案

2021年1月26日 県社保協 高崎
2021年2月5日 修正

I. 広がるこども医療費助成

中学生以上が通院で1585自治体(91.03%)、入院で1686自治体(96.84%) (厚労省2020年9月発表、2019年4月1日現在)
所得制限なしも通院で1492自治体 85.69%
一部負担なしも通院で1115自治体 64.04% コンビニ受診もなし
沖縄県も11月27日、2022年4月から中学卒業まで無料化(償還払い)を発表
その後わずか1か月で、9つの市町村が「現物給付」検討表明
ただし、千葉県で「有料化の動き」など逆流も起こり始めている
逆流に乗せられないよう常に世論の後押しが必要である

II. 沖縄県での子どもの医療費助成拡大のために
「現物給付化」には決着をつけよう

- ① 中学校卒業まで現物給付化を実現し、18歳まで年齢拡大するためには
- 1) 一番確実なのは国の制度とすること
 - 2) 国のペナルティを全廃すること
 - 3) 市町村における独自改善、特に現物給付
 - 4) 市町村における独自改善、18歳まで拡充
 - 5) 県のさらなる支援策
- いずれも世論の後押しが必要
今回は1)2)をあえて正面に押し出し
市町村との共同を広げつつ
順次3)4)の改善を求めていくのがいいのではないかと。

②署名運動による世論の後押しで、対象拡大を実現しよう
提案

- 1) 署名内容
 - ①呼びかけ賛同 個人メッセージ署名(国と県、市町村すべてにむけて)
 - ②国にむけての2点署名
 - ① 18歳まで国の医療費無料制度を早期に創設してください
 - ② こども医療費助成制度を現物給付した市町村の国民健康保険国庫補助金の削減(ペナルティ)をただちに廃止してください
- 2) 主催団体
こどもの医療費助成制度を広げる沖縄県民の会
- 3) 提出時期と相手
2-4月、賛同者を集め
5月に記者会見(メッセージ署名100名以上で)
第一次提出は、8月末 国会向け
個人署名も運動自体は2月に開始する
- 4) 目標案
2013年の県議会署名が5000
2018年の県議会署名が18000筆
今回は、医師会等の賛同が不明なので厳しいが、前回は上回る署名を2年間で集めたい
全国にも協力をよびかけたい
2021年に1万筆提出
2022年4月までに、500名以上のメッセージ署名と国会あて署名2万筆を達成する

子ども医療費「現物給付」化と 18歳までの年齢拡大作戦のイメージプラン

2021年1月26日 県社保協 高崎

2020年11月 27日 県が中学卒業まで無料化(償還払い)発表

2021年1月 8日 子ども医療費無料制度を広げる県民の会で県庁要請と
自治体アンケート発表 新たに9自治体が「現物給付」検討へ(計26自治体)

2021年2月 19日 呼びかけアピールの確認

呼びかけ賛同者の
メッセージ署名を
100名分集める

4月

自治体アンケート項目に

2021年4月末

賛同メッセージを入れて
署名用紙、ビラ、ポスターの作成

2021年5月

国向けの署名スターz
トを記者会見
さらに県内アピールのため「個人メッセージ署名」拡大

国向け
署名
1万筆
集める

7月くらい?

中間

学習企画

☆キャラバンで重点的に呼びかけ
「現物給付」検討30自治体

2021年9月末

第一次分署名 1万筆国会提出
メッセージ個人署名 300名 県庁記者会見

☆母親大会全国大会で報告

2022年1月

ブースター企画

☆キャラバンで重点的呼びか
☆「現物給付」検討35自治体に

2022年9月末

最終提出 2万筆国会提出
メッセージ署名 500筆 県庁記者会見

呼びかけ賛同者の
メッセージ署名を
300名

国向け
署名
2万筆
集める

呼びかけ賛同者の
メッセージ署名を
500名分集める